



第380号

公益社団法人  
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
発行責任者 松原 義輔  
編集者 原岡 艶甲

## ポスターコンクール 表彰式

優秀作品に  
飯泉知事から表彰状

平成 23 年 10 月 18 日(火)午前 11 時より、県庁知事室において、「平成 23 年度浄化槽の日ポスターコンクール」の表彰式が執り行われた。

表彰式には、飯泉知事・福家教育委員会教育長・松原環境技術センター会長及び最優秀賞を受賞された辻真紀子さん(川田小5年生)、林春奈さん(阿波中1年生)と、優秀賞を受賞された黒川明日香さん他7名及び付き添いの保護者の方や先生など多数の方が出席された。

飯泉知事は、一人一人に表彰状と記念品・盾を授与し、「受賞された皆さんから、川や海をキレイにしなければいけないこと、浄化槽が大変重要な働きをすることをお友達に広めてください」とお祝いの挨拶をした。

最後に受賞者の皆さんと主催者の飯泉知事・福家教育長・松原会長と一緒に、記念写真を撮り表彰式を終えた。



最優秀賞を受賞された辻真紀さんと林春奈さん

全員で記念撮影



## 県が浄化槽の日の広報活動実施

県下各地で啓発キャンペーン

徳島県では、10月を「浄化槽月間」として、県ゴミゼロ推進室と環境技術センターは、10月14日・17日・20日の3日間、県内各地で街頭啓発キャンペーンを実施した。

まず、10月14日(金)は徳島駅前、10月17日(月)は阿南市・小松島市のショッピングセンターで、10月20日(休)は美馬市・三好市のショッピングセンターで、延べ45名による広報活動が実施された。

これは、県民のみなさんに、きれいな水環境保全のために、大きな役割を果たす浄化槽について、維持管理の重要性や法定検査の必要性などについて、理解と関心を深めてもらうため、県ゴミゼロ推進室が企画し実施したものである。

センターからも3日間で延べ23名が参加し、通行人や買い物客を対象に、チラシやエコバックなどを配布し、「きれいな水環境保全」と「浄化槽の適正な維持管理」の重要性を呼びかけた。

また、ショッピングセンター4カ所では、アンケート調査を実施し県民の意識調査を行った。



## 徳島ビジネスチャレンジ メッセ2011に出展

10月27日～29日の3日間 アスティとくしまで「徳島ビジネスチャレンジメッセ2011」が開催された。徳島県内企業の技術や製品など、県内のニュービジネスを発信する展示会として147社の企業が出展した。開催中は約38,000人の来場者があり、センターも、会場に相談コーナーの設置やパネルを展示し、ビデオの

放映やパンフレットを配布し、浄化槽の適正な維持管理を呼びかけた。



# 23年上半期の浄化槽出荷台数

仮設住宅向け需要で  
11～50人槽が

41%増

社浄化槽システム協会は、平成 23 年度上半期の浄化槽の出荷統計を発表した。

それによると、10 人槽以下は不況の影響を受け、昨年に引き続き、前年度対比で 2.3% 減の 66,060 基であったが、11～50 人槽については、東日本大震災で、整備された仮設住宅への需要があったことから、41% 増の 5,303 基と大きく増加した。

ブロック別の 10 人槽以下については、関東甲信越及び九州が昨年度から横ばいで推移しているものの、全体では 2.3% の減となった。

四国の状況を見ると、徳島県が昨年度比 9% 減の 1,292 基と最も大きく落ち込み、次いで香川県の 1,625 基（2% 減）となった。

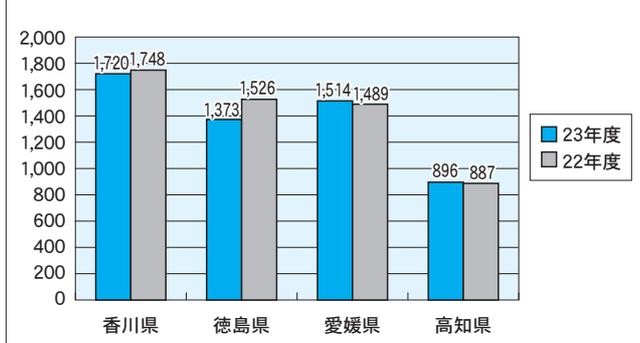
また、愛媛県は昨年度とほぼ同数の 1,427 基、高知県は 1.9% 増の 845 基であった。

表 1 平成 23 年度（4 月～9 月）  
小型合併浄化槽工場生産出荷台数（ブロック別）

ブロック	5～10人槽		11～50人槽		合計		
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	
北海道	1,011	98.0%	67	97.1%	1,078	97.9%	
東北	5,667	88.0%	1,792	570.7%	7,459	110.4%	
関東甲信越	20,399	100.6%	1,109	111.8%	21,508	101.1%	
北陸	878	77.4%	58	89.2%	936	78.1%	
中部	11,178	99.0%	752	101.6%	11,930	99.2%	
近畿	3,815	88.6%	232	94.7%	4,047	88.9%	
中国	5,218	96.5%	269	104.3%	5,487	96.9%	
九州	12,705	102.5%	710	93.4%	13,415	102.0%	
四国	5,189	97.3%	314	99.1%	5,503	97.4%	
	香川県	1,625	98.0%	95	105.6%	1,720	98.4%
	徳島県	1,292	90.8%	81	78.6%	1,373	90.0%
	愛媛県	1,427	100.3%	87	131.8%	1,514	101.7%
	高知県	845	101.9%	51	87.9%	896	101.0%
合計	66,060	97.7%	5,303	141.0%	71,363	100.0%	

※徳島県は 11～50 人槽の落ち込みが大きい

図 1 四国地区浄化槽（5人～50人槽）  
出荷台数比較表



県内の浄化槽設置届の受付件数（表 2）を見ると、上半期の浄化槽受付件数が、1,489 基（1,619 基）で昨年度比△130 基の 2% 減となった。現時点では、出荷台数の減少ほどの落ち込みはなかったが、後半は減少が予想される。

表 2 設置届受付状況（前年同期対比）

市町村名	23年(上)	22年(上)	増減	23年上半期内訳		
				5～10人槽	11～50人槽	51人槽～
徳島市	421	451	-30	387	10	24
藍住町	91	102	-11	83	2	6
北島町	52	78	-26	43	2	7
佐那河内村	2	1	1	2	0	0
石井町	58	61	-3	52	1	5
神山町	7	8	-1	7	0	0
上板町	22	35	-13	143	2	4
鳴門市	149	149	0	30	1	1
松茂町	32	38	-6	19	0	3
板野町	22	23	-1	71	1	6
小松島市	78	91	-13	12	0	1
勝浦町	13	8	5	4	0	0
上勝町	4	12	-8	21	1	0
阿南市	191	187	4	172	3	16
那賀町	15	20	-5	14	0	1
美波町	12	15	-3	11	1	0
牟岐町	17	22	-5	15	0	2
海陽町	15	9	6	14	0	1
阿波市	70	85	-15	66	0	4
吉野川市	32	35	-3	30	0	2
美馬市	63	65	-2	61	0	2
つるぎ町	13	14	-1	13	0	0
三好市	78	80	-2	72	3	3
東みよし町	32	30	2	29	1	2
合計	1,489	1,619	-130	1,371	28	90

※1市3町1村が昨年度より増加

また、国交省が発表した 23 年度上半期の新設住宅着工戸数は、前年度比 6.1% 増の 43 万 2,760 戸と首都圏を中心に上向き、43 万戸を回復したが、県建築指導課が発表した、平成 23 年上半期の徳島県内における住宅着工戸数（表 3）は、上半期で、1,675 戸（前年度 1,809 戸）を受付しており、昨年同期と比べると、△134 戸で 8% の減少となった。

いずれのデータからも、県内の浄化槽の新規設置件数は減少しており、景気対策や汚水処理人口普及率の向上の観点から、現在、約 15 万基存在する単独浄化槽を合併浄化槽へ転換する施策が望まれる。

表 3 住宅着工戸数（前年同期対比）

市町村名	23年度(上)	22年度(上)	増減	対比率
徳島市	634	719	-85	88.2%
鳴門市	166	140	26	118.6%
小松島市	125	69	56	181.2%
阿南市	198	141	57	140.4%
吉野川市	60	76	-16	78.9%
阿波市	73	92	-19	79.3%
美馬市	38	60	-22	63.3%
三好市	23	29	-6	79.3%
勝浦町	3	3	0	100.0%
上勝町	0	0	0	
佐那河内村	0	3	-3	0.0%
石井町	43	48	-5	89.6%
神山町	1	1	0	100.0%
那賀町	8	4	4	200.0%
牟岐町	0	7	-7	0.0%
美波町	4	3	1	133.3%
海陽町	5	8	-3	62.5%
松茂町	48	118	-70	40.7%
北島町	82	85	-3	96.5%
藍住町	106	119	-13	89.1%
板野町	18	17	1	105.9%
上板町	15	37	-22	40.5%
つるぎ町	6	9	-3	66.7%
東みよし町	19	21	-2	90.5%
合計	1,675	1,809	-134	92.6%

## みなみから届ける 環づくり会議に参加

県南地域で環境保全活動に取り組む「みなみから届ける環づくり会議」第3回幹事会が、10月12日、南部総合県民局で開催された。

この会議は県南地域の産・官・学・民が一体となって活動している組織であるが、センターは今年度よりオブザーバーとして参加し、水環境の水質保全を目的として活動している。

幹事会では環づくりで活動している、協働・水質・竹林・交通の各ワーキングの活動実績報告並びに今後の運営に関する協議がなされた。

幹事に引き続き、水質ワーキングが開かれ、センターが先日実施した、富岡東中学校と橘小学校での環境学習教育について、活動実績報告を行った。

環境学習教育は、センターの他、王子製紙、日亜化学、日本電工、南部総合県民局、阿南高専から専門分野の講師がそれぞれ講習を担当しており、小中学校と連携を図りながら活動している。

実績報告の他、今後の活動計画等が話し合われ、まとめとして、各ワーキングの活動を共有し、情報のテキスト化等を見据えて今後活動を進めていくことを確認し閉会した。



## 阿南市こども フェスティバル開催

「みんな集まれ！楽しい体験、レッツ・チャレンジ！」をテーマに、第9回阿南市こどもフェスティバルが、10月23日(日)に、阿南工業高等専門学校で開催された。

この催しは、色々な実験や物作り体験等を通じて、子供の知育を図ることを目的に、阿南市・阿南市教育委員会と阿南工業高等専門学校の連携事業として開催されている。

当日は好天にも恵まれ、多数の来場者があり、色々な体験イベントに子供たちの歓声があがっていた。

センターがオブザーバーとして参加している「みなみから届ける環づくり会議」からは、「E C Oクイズ&スタンプラリー及び紙作りと水リサイクル実験」で出展した。

来場した子供たちは紙作りを体験したり、紙を作った後の廃水の浄化実験も体験した。

また、身近な川に棲んでいる魚や絶滅危惧種に指定されているオヤニラミも展示し、水に棲む生きものを通じて環境の大切さをアピールした。



## 第25回 浄化槽技術 研究集会開催

■ 業界・検査機関、研究者など1,000名が参加 ■

10月12日(水)・13日(木)の2日間、茨城県の土浦市「土浦市民会館」および「ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ」で第25回全国浄化槽技術研究集会が開催された。

浄化槽の日の関連事業として、(財)日本環境整備教育センターが実施したもので、全国から、業界関係者、行政担当者、研究者など約1,000人が参加し、盛大に執り行われた。

1日目は、式典が行われ、功労者に対する表彰や浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈が行われ、式典終了後は、東京大学環境安全研究センター山本和夫教授の「東日本大地震から得られた教訓と今後の汚水処理のあり

方」について特別講演が行われた。引き続き、「東日本大地震における浄化槽等の被害状況報告と課題の整理」と題して、被災した、岩手・宮城・福島・茨城の4県の団体から、県内の被災状況等についての報告がなされた。

2日目は研究発表会が行われ、18題の浄化槽に関する研究が発表された。



## 第2回 会員ゴルフコンペ開催

優勝は岩本氏

11月3日(祝) 昨年のコートバールから阿波市の御所カントリークラブに場所を移し、センター主催の第2回ゴルフコンペが開催された。浄化槽設備士会、浄化槽管理士会と共催したこともあり、15名の参加があった。

当日はあいにくの雨模様となったが、4組に分かれて9時15分にスタート。

山岳コース特有の狭いフェアウェイとアップダウンに悩まされ、参加者の皆さんから『アカン谷いってもうた』とか『ほっちとちゃうッ』、『オーイもんでこーい』など、自分の打ったボールに指示を飛ばす声が聞こえ、ハーフ50オーバーが続出した。

午後から雨は小康状態となったが、スコアはあまり変わらず、『今日はメチャクチャじゃ』『おかしいな、全然当たれへん』と嘆き節が多く聞かれた。そんな中でも、土柱衛生の佐藤さんは、『えっとぶりで調子がでーへん』と言いながらもベストグロス84を出し、その一方で、センターから事務局として無理矢理出場した山下君はニコニコと絶好調のような笑顔で180というボーリング?のようなスコアをたたき出していた。また、ドラコンホールも、飛ばせないホールに設定されており、『ドライバー使えんドラコンでどんなん?!』などと親睦コンペならではのトリッキーな趣向に戸惑いながらも、皆さん楽しくプレーしていた。

表彰式では、主催者を代表して山田副会長(設備士会会長)が挨拶、入賞者の表彰後、最後に優勝した岩本さんが『たまたま今回ハンディがついて私が優勝させていただいたが、皆さんよく似た成績で、誰でも可能性はありました。会員相互の親睦を深めるため、このような行事は是非継続していただきたいと思います』と挨拶し、楽しい1日を終えた。

成績(ダブルペリア方式)は次のとおり

優勝	岩本 武司(株岩本総業)	74.8	〈敬称略〉
準優勝	関口 勲(有山川清掃)	75.4	ニアピン1回
3位	田原 典郎(株田原工業)	75.4	

(4位以下の成績)

- ◆4位 高尾武司(株ユニベック)77.0 ドラコン1回 ◆5位 森 玄徳(有森清浄社)77.6 ニアピン2回 ドラコン1回 ◆6位 大坂利弘(有大坂建材)78.0 ◆7位 佐藤幸男(有土柱衛生)78.0 ◆8位 川人誠司(技術センター)78.2 ◆9位 山田 寛(株東海工業)78.8 ◆10位 中内猛博(有徳島環境保全事務所)80.4 ◆11位 神戸克佳(有たいち)81.0 ◆12位 四宮勢一(有四宮水道工業所)81.0 ニアピン1回 ◆13位 川原浩二(技術センター)90.0 ◆B B 吉岡 誠(株アズマ四国)95.0 ◆ホテル 山下桂一郎(技術センター)144



## 水質計量便り

はや師走です(— —)!!  
 今年は、本当に忙しい年でした。  
 環境に関するイベントや子供たちを対象とした環境学習。手探りで、子供たちに喜んでもらえるように取り組んできましたが、準備が本当に大変でした(@\_@;) )



その分、「子供たちへ環境への関心のきっかけとなって、学校での取り組みの一つに、微生物を調べることになりました。」といったようなお言葉をいただくと、もっといいものをお届けしたいとおもいます(\*^。^\*)

これも様々な方面の方々のご協力の賜物と考えております。どうもありがとうございました。みずすまし隊一同これからもがんばります。

さて、環境基準の基準値が変更されましたので、お知らせします。

公共用水域の水質汚濁にかかる人の健康の保護に関する環境基準及び地下水の水質汚濁に係る環境基準(以下「水質環境基準健康項目」)の基準値の変更が告示されました。

内容は、水質環境基準健康項目のうち、カドミウムが0.01mg/Lから0.003mg/Lに改正されました。ただし、基準値は年間平均値となります。

施行期日は平成23年10月27日です。

ますます、低濃度の測定の需要と分析への信頼性が求められますね。

水質計量係もより一層技術の向上、精度管理の徹底に努力したいと思います。

来年もどうぞよろしくおねがいいたします。

by koizumi

## 事務局だより

### 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。



#### ○11条検査(一斉検査)

日程1:平成23年12月13日~12月27日  
 地区:阿波市一斉検査(阿波町・市場町地区)

#### ○11条検査(督促検査)

日程2:平成23年12月13日~12月27日  
 地区:阿波市・吉野川市

#### ○11条検査(通常移行)

日程3:平成24年1月5日~1月17日  
 地区:徳島市内

#### ○7条検査

日程1:平成23年12月12日~12月16日  
 地区:鳴門市・松茂町・板野町  
 日程2:平成24年1月5日~1月27日  
 地区:徳島市・藍住町・北島町・石井町・上板町・神山町・佐那河内村

